

**公益財団法人8020推進財団**  
**平成30年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録**

1. 事業名：3歳児カリエスフリー85プロジェクトの事業評価にかかるアンケート調査の実施

2. 申請者名：一般社団法人 仙台歯科医師会

代表者名 駒形 守俊                      担当者名 平田 政嗣

3. 実施組織：（一社）仙台歯科医師会・東北大学・仙台市・歯と口の健康づくりネットワーク会議

4. 事業の概要

仙台市では、平成27年度より「3歳児カリエスフリー85プロジェクト」を実施している。当事業はむし歯予防の入り口を小児科で実施される「8・9か月乳児健康診査」に求め、小児科医から歯科医師への連携によってなされる全国的にも類を見ない事業である。本年度は開始から4年目を迎え、開始時0歳児であった児が3歳児健診を受診する年度である。そこで対象となる児の保護者・実施歯科医療機関・協力小児科医など関係団体にアンケート調査を実施することで、本事業の実施状況・問題点などを抽出する。

「☆せんだい☆でんたるノート」を情報媒体として早期からのフッ化物塗布と保護者への啓発活動を実施内容の根幹においた事業であるが、実際の活用状況やむし歯有病者率への効果も詳細に検討されていないのが現状である。本事業をさらに一歩前進させ、効果的に機能させるには、今こそ本格的調査を実施する必要がある。

仙台市においては3歳児のカリエスフリーの子どもは増加しているとはいえ、全国・他の政令指定都市と比較すると十分とは言えない。この時期にカリエスフリーの子どもたちを育てることは、その後の歯と口の健やかな発育に大きく寄与するものである。その意味でも本事業によって、課題解決がなされれば「3歳児カリエスフリー85プロジェクト」の大きな前進が期待できる。

5. 事業の内容

1. アンケート調査事項の検討
2. アンケートの実施
3. 調査内容の集計と分析
4. 分析結果の有効活用方法の検討

6. 実施後の評価（今後の課題）

本プロジェクトは医・学・官の連携プロジェクトである。乳幼児の歯科的関与は多くは1歳か月健診以降となりがちであるが、より低年齢からの口腔管理の実現に向けて、その出発点を小児科医療機関の8・9か月乳児健康診査に設定している。実際、仙台市においてはすでに1歳6か月健診時に口腔に問題を有する児が全国と比較しても多いと結果がある。そのような観点から考案された本プロジェクトは乳幼児期における医科歯科連携プロジェクトであり本邦でも先駆的な事業である。そしてその管理の基盤として「☆せんだい☆でんたるノート」を活用することとしている。8・9か月幼児歯科健診における「☆せんだい☆でんたるノート」の配布状況は良好であるが、それが十分な歯科医療機関への受診勧奨として機能しているとは言い難い。協力歯科医療機関における保健指導やフッ化物塗布に関しては特に指導料や処置料が設定されているわけではなく、すべて協力歯科医療機関の裁量に任せられているのが現状である。それゆえ保健指導や「☆せんだい☆でんたるノート」の記載ならびにフッ化物塗布についても平準化が十分に行われているとは言い難い。

幼児歯科健診のアンケート結果からは1歳6か月児でかかりつけ歯科医のある児の割合は良好である程度本プロジェクトが浸透しつつあることを示しているといえる。さらなる低年齢児からの歯科口腔管理を実施するためにも保健指導や「☆せんだい☆でんたるノート」の記載ならびにフッ化物塗布のスタンダード化に向けてプロジェクトの改善を図る必要がある。仙台市の子供たちの歯と口の健康づくりをより強力に支援し仙台市・宮城県の健康課題の解決に少しでも貢献できれば幸いではなかろうか。

